

六十谷の子

有功東小学校共育情報誌 第80号
平成25年1月1日
和歌山市立有功東小学校
TEL 073-462-1322
FAX 073-462-3139

あけましておめでとうございます



平成25年(2013年)の新春をご家族おそろいでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はロンドンオリンピックでの日本の選手の活躍に一喜一憂しました。「日本もなかなかやるな!」そんなことを感じたオリンピックでした。また、年末には、iPS細胞の研究で知られる京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。山中教授は、記念講演のなかで「予期せぬ結果と素晴らしい師に出会うことができ、幸運だった」と話されたそうです。教育に携わる者として、そのような「師」になりたいと願い、今年1年、子どもたちのために頑張っていきたいと思えます。

今年「巳年」。「巳」は、植物に種子がではじめる時期だと考えられています。干支としては「蛇」が当てられています。ヘビは執念深いといわれると同時に、恩を忘れず、助けてくれた人には恩返しをするとも言われています。平成25年が、子どもたちにとって、才能が発芽する1年であってほしいと願うとともに、自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れない1年でもあってほしいと思えます。



3学期は、3月22日の修了式までわずか51日です。6年生は卒業式まで49日しかありません。そんな短い3学期ですが、1年間を締めくくる大切な時期でもあります。子どもたちの持つ力を伸ばすことができるよう、また、子どもたち一人一人が互いに支え合い、励まし合いながら、仲間のすばらしさを感じることができるよう頑張っていきたいと思えますので、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

古紙回収のお礼

12月9日の本校育友会の第2回古紙回収は、冷たい小雨が降るなかでの実施となりましたが、たくさんの地域や保護者の皆さま方のご協力により、たくさんの収益を上げることができました。学校図書の充実などにあてさせていただきます。

本年度の古紙回収はこれで終わりとなります。ありがとうございました。

来年度もよろしくお願ひします。



謹賀新年

昨年中に賜りましたご厚情に
厚く感謝いたしますと共に
本年も変わらぬご指導のほど
お願い申し上げます



季節と伝統を感じる行事！

校区子どもセンター事業の一つとして、今年も餅つきとしめ縄づくりがあり、たくさん子どもや保護者が参加しました。

餅つきは、12月8日（土）本校ピロティーで行われました。母親子どもクラブや地域の方、保護者の皆さんが餅米を蒸して、石臼と杵でつくところまでお膳立てしてくれました。



参加した子どもたちが一人一人交代でつきました。つき終わったら、砂糖醤油やきなこで早速いただきました。つきたてのお餅に「おいしい！」とうれしそうでした。

12月15日（土）には、有功小学校でしめ縄づくりが行われました。本校からは20



数人の子どもが保護者と参加しました。有功地区民生児童委員の皆さんが、わらやウラジロなどの材料を用意してください、子ども一人一人がしめ縄をつくりました。わらを編んで、きれいに形を整えるところまでしか子どもたちはできませんが、飾り付けてもらったしめ縄を見て、とても満足そうでした。



以前は、どの家庭でも餅つきをしたりしめ縄をつくったりしていましたが、最近はお正月にしめ縄を飾る家も減ったように感じます。野菜や果物なども季節を問わず年中食べられるものが増えました。でも、1年の始まりであるお正月に関する季節行事は、大切にしてほしいとも思います。1月の校区子どもセンターでは「かるたとり大会」も計画されています。地域や保護者の皆さんが、子どもたちに伝統行事を教

えていただけることは、とてもありがたいことだと感謝しています。お手伝いいただきました皆様、ありがとうございました。

< 3学期の行事予定 >

	日	学校の主な行事
1月	8 火	3学期始業式
	9 水	給食開始
	16 水	避難訓練 委員会活動
	19 土	科学作品展(フォルテピアマ20日まで)
	21 月	5年社会見学(ダイツなど)
	25 金	A L T 来校(28日も)
	26 土	学校美術展(市民会館27日まで)
2月	5 火	いさお幼稚園との交流(1年)
	7 木	3年社会見学(市立博物館)
	8 金	新入児説明会
	20 水	クラブ活動最終日
	21 金	授業参観・学級懇談
3月	1 金	6年生を送る会
	19 火	卒業式
	21 木	給食終了
	22 金	修了式
	29 金	離任式(予定)

認知症について学習

11月29日と12月13日に、5・6年生の各学級で、和歌山市の介護保険課の出前授業がありました。テーマは「認知症の正しい理解」でした。

2回にわたって認知症について教えてもらい、その人の気持ちや自分たちの関わり方についてグループで考え合いました。グループで話し合ったことを発表し、互いの意見を深めました。「認知症」ってよく耳にしますが、小さい頃から正しく理解することが、誰にでも住みよい地域づくりにつながると思います。

